

氷川寮・千草寮の民営化に向けたスケジュール等

1. 経緯

八代市では平成18年11月に「八代市行財政改革大綱」及び平成19年6月に「行財政改革実施計画」を策定しました。これには「民間でできることは民間に委ねる」ということが謳われております。このことから氷川寮・千草寮につきましても、民間が有しておられる専門的知識や経験等を導入することにより、民間活力を生かした施設運営と利用者サービスの向上を図る目的で、民営化を推進することになりました。

2. 主なスケジュール

H20.02 施設の関係者等に説明（入所者・親族、身元引受人等）

03 民営化等推進調査実施（八代市版市場化テスト）

04 土地建物鑑定評価

以降 公募条件決定、公募、選定委員会、譲渡先決定、市議会に
関係条例等の提案、譲渡先との契約、国県へ各種申請等

直営事業廃止 ⇒ 民営化スタート

最も早くても21年4月に民営化スタートの予定であります。

3. 民営化等推進調査実施（八代市版市場化テスト）とは

民営化等を実施するには、受け手となる民間の参入意欲や参入に当たっての課題の有無等を事前に把握し、民営化等を実施した後も円滑な施設運営等が行われるよう、十分な検討が必要である。

そこで公募の前に、市として意思決定が必要な公募条件の主な事項等について調査を実施し、民意も踏まえた中で民営化等の実現を図ることを目的に実施するもの。

4. 民営化に当たって特に重要なこと

現状よりサービスの低下はあってはならないことである。譲渡先の決定に当たり最も配慮すべき事項であり、福祉に十分理解のある法人を選定していく。